

事務事業名		大船渡ふるさと大使委嘱事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目				
	施策名	23 豊かな地域資源を活用した観光の振興					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 観光客の誘致と観光宣伝の充実					01	02	01	06	14
根拠法令	庁議等運営規程										
所属	部課名	企画政策部企画調整課			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 9 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	志田 努									
	係名	地域交流係	電話	0192-27-3111							
	担当者	新沼 裕一	内線	216							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
・市にゆかりのある人を「さんりく大船渡ふるさと大使」に任命し、市のPRや情報提供を受ける。 ・大使との懇談会を設け、市政への提言を受ける。 主な業務内容は次のとおり ・24年度に54人の大使を委嘱(任期3年。平成24年度から26年度)。 ・市のPRする際に使用する名刺を印刷し配布。 ・それぞれのできる範囲、方法により大船渡のPRに努めてもらう。 ・情報交換及び大使相互の交流を図るための懇談会の開催。						総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
									事業費計 (A)	0	
人件費	正規職員従事人数										
	延べ業務時間										
	人件費計 (B)	0									
	トータルコスト(A)+(B)	0									

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 委嘱した大使に対し、大船渡市をPRする際に使用する名刺を印刷し配布した。それぞれのできる範囲、方法により大船渡のPRに努めてもらった。また、情報交換及び大使相互の交流を図るため、懇談会を開催した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 委嘱した大使に大船渡市のPRをしてもらうとともに、随時市の活性化方策に関する意見・提言を寄せていただく。 また、例年と同様、大使の方々と市長との懇談会を開催する。					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
					名称				単位	
					ア	懇談会参加者数			人	
					イ	名刺印刷枚数			枚	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ふるさと大使					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
					名称				単位	
					カ	大使委嘱数			人	
					キ					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市政の各般にわたり、助言してもらう。					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
					名称				単位	
					サ	市に寄せられた意見・提言の件数			件	
					シ					
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・大船渡市の魅力がPRされ、認知度が高まる。					ス					
(2) 総事業費・指標等の推移										
			単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	456	494	463	536	550	536	
		事業費計 (A)	千 円	456	494	463	536	550	536	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時 間	150	150	150	150	150	150	
		人件費計 (B)	千 円	600	600	600	600	600	600	
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	1,056	1,094	1,063	1,136	1,150	1,136	
⑤活動指標		ア	人	31	30	22	35	35	35	
		イ	枚	900	6200	3100	3200	5500	3200	
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	59	54	54	55	55	55	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	件	35	83	40	60	60	60	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0346	事務事業名	大船渡ふるさと大使委嘱事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
「大船渡市ゆかりのネットワーク」として始まった取り組みが、平成9年度発展的に再編され「大船渡ふるさと大使」の設置となった。本市のイメージアップを図るための手段の一つとして、当市に理解と郷土愛をもつ市外在住の方々に、本市に関する情報を各方面に発信していただくとともに、本市の活性化方策についての意見・提言をいただくため「大船渡ふるさと大使」を設置した。旧三陸町との合併後、名称を「さんりく・大船渡ふるさと大使」に変更した。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
さまざまな職種、人脈、活動を行っている大使に、それぞれができる範囲でのPRと市の活性化方策に関する意見・提言等をいただいている。また、大使に関わる案件としては、市内において、修学旅行の行程のひとつとして、市にゆかりのある方の職場等の訪問を企画した学校があり、大使を通じてその訪問が実現したということも挙げられる。また、東日本大震災直後から大使の自らの活動を通して、震災支援活動を行っていたりしている。さらに大使の協力によりイベントやコンサートの開催に繋がるなど、大使の活用の範囲が広がっている。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・大使からは、これまで以上に自分たち大使を利活用すべきだとの意見が寄せられている。 ・大使間の横のつながりがないため、気軽に意見交換が出来るような場をつくって欲しいとの要望が寄せられている。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	当市に理解と郷土愛をもつ市外在住の方々に、本市に関する情報を各方面に発信していただき、市のイメージアップを図り、当市へ訪れる方々の誘致の一助とすることから、豊かな地域資源を活用した産業及び観光の振興に結びつく。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	本市のイメージアップ、PRについては、本市に理解と郷土愛をもつ市外在住の方にもPR等に取り組んでいただくことが重要であり、公共が関与することは妥当である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	当事業は、市のPRはもとより、様々な振興策などについて意見、提言を求めるため、当市出身者で中央で活躍している人など、当市とゆかりのある市外在住者をふるさと大使に委嘱して実施しているものであり、対象、意図ともに適切である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	各方面からの大使の掘り起こし、各大使へのより詳細な情報提供等、成果向上の余地はある。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	震災の風化や震災からの復旧・復興に対する情報発信手段、本市のイメージアップ、PRについての手段が減る。また、市外居住者の立場からの本市に関する意見・提言を受ける機会が減るので、廃止も休止もできない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	さんりく大船渡人会は、当市出身者同士の親睦が主目的であるのに対し、ふるさと大使は出身を問わず、当市とゆかりのある方に観光PRや市政への意見、提言をお願いするものであり、統廃合できない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	年1回の懇談会と大使への名刺配布が主な事業であり、これ以上の削減はPR活動に支障がでる可能性がある。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	本事業の成果を上げるためには、大使との連絡調整のための時間が必要であり、担当者の業務時間削減にはつながらない。また、庁内のさまざまな部署との連携が必要となることから、アウトソーシングにはなじまないものとする。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	大使の日常のPR活動等に対して市からの支出はなく、大使活動自体はボランティアであることから受益者負担はない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	大使には名刺のみを配布している状況だが、ふるさと大使懇談会などでは、郷土愛にあふれる意見・提言をいただいております。今後も双方の流れを大切にしながら、本市のまちづくりに生かしていきたい。					
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																	
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) ・より詳細な市政情報の迅速な提供に努める。 ・新たな大使の掘り起こしに努める。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)							
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
<table><tr><td rowspan="4">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		成果	向上		●		維持			×	低下		×	×				
成果	向上			●														
	維持				×													
	低下			×	×													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	企画政策部企画調整課長 志田 努

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																		
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																		
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																	
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	大使の方々への情報提供の回数や内容を工夫することで成果向上が期待できる。					
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																	
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 現在、ふるさと大使の方々には、ふるさとだより(年2回発行)と市広報(毎月5日発行)を送付しているが、これだけでは、単に当市の現状を伝えるにすぎない。今後、市として支援をお願いしたい事項をまとめ、折をみて大使の方々に送付するような取り組みを考える必要がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)							
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持														
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																		
<table><tr><td rowspan="4">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		成果	向上		●		維持			×	低下		×	×				
成果	向上			●														
	維持				×													
	低下			×	×													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項